

## 「鉄道地震工学研究センター 第2回アニュアル・ミーティング」 を開催しました

平成28年1月25日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 第2回アニュアル・ミーティング（Annual Meeting）」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、鉄道地震工学研究センターの活動紹介や今後の活動に資するための意見交換の場として、鉄道地震工学研究センター アニュアル・ミーティングを開催し、鉄道事業者をはじめ官公庁、大学、一般企業から120名の方々にご参加頂きました。

2回目となる今回は「耐震設計・耐震補強におけるシミュレーションの活用」をメインテーマとしました。基調講演「地震工学分野におけるシミュレーションの最前線」として東京大学地震研究所 堀宗朗教授に、スーパーコンピューターを利用した地盤や構造物の大規模地震応答シミュレーションについて講演を頂きました。そして「鉄道地震工学センターの活動と今後の展開」として、『鉄道地震災害シミュレータ』と平成27年度から運用を開始した『鉄道用地震情報公開システム』の内容について紹介しました。さらに、京都大学防災研究所 五十嵐晃教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションでは「耐震設計・耐震補強におけるシミュレーションの活用 現状と課題」について、鉄道事業者、大学および企業の研究者、設計実務の専門家をパネラーとして、フロアも交えた活発な討議が行われ、ばらつきのある大きな地震挙動の本質を捉え、地震に対して安全な構造物を構築するためにはシミュレーションの活用が今後更に重要となるが、同時に解析に必要な調査情報の充実や、実験等による解析結果の検証等が必要である、等の意見が交わされました。

### 記

- 開催日時：平成28年1月18日(月) 13時30分から17時30分
- 開催場所：御茶ノ水ソラシティ ソラシティホール West（東京都千代田区神田駿河台）

### 3. プログラム

- 開会挨拶 鉄道総研 理事長 熊谷 則道
  - 基調講演  
「地震工学分野におけるシミュレーションの最前線」  
東京大学地震研究所 教授 堀 宗朗 様
  - 鉄道地震工学研究センターの活動と今後の展開  
「鉄道地震災害シミュレータ」  
鉄道総研 鉄道地震工学研究センター長 室野 剛隆  
「鉄道用地震情報公開システム」  
鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震解析研究室長 山本 俊六
- 〈コーヒーブレーク&ポスターディスカッション〉  
休憩時間中に鉄道地震工学研究センターの最新の技術成果ポスターを4件展示
- ・津波伝播特性を利用した早期津波予測手法の開発
  - ・地震時の車両挙動に基づく走行安全性解析
  - ・効率的な液状化対策が可能な脈状地盤改良工法の開発
  - ・絶対応答低減のための負剛性摩擦ダンパーの開発と性能評価

## ■パネルディスカッション「耐震設計・耐震補強におけるシミュレーションの活用 現状と課題」

(コーディネーター)

京都大学防災研究所 教授

五十嵐 晃 様

(パネラー)

東日本旅客鉄道株式会社

小林 薫 様

東海旅客鉄道株式会社

安原 真人 様

埼玉大学レジリエント社会研究センター 教授

齊藤 正人 様

株式会社長大

矢部 正明 様

清水建設株式会社 技術研究所

福武 毅芳 様

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震動力学

坂井 公俊

## ■閉会挨拶 鉄道総研 理事

奥村 文直



講演会の様子



パネルディスカッションの様子

## 【熊谷理事長挨拶 要旨】

本日は100名を超える沢山の方にご来場頂きました。心から感謝申し上げます。

昨年3月に第1回のアニュアル・ミーティングを開催させて頂き、今回で2回目になります。我々は地震の脅威というものを、片時も忘れてはならず、考え得る万全の備えをするための一翼を担っていきたく思います。今日のテーマにもありますが、被害の軽減や列車運行の早期の回復といったようなものに結びつけていくために、正確なリアルタイムな情報の提供を我々は目指し、昨年、地震情報公開システムを提案致しました。この地震情報公開システムは第二ステップに入ります。これはどの位の震度の地震が起きたという情報とともに、施設の状況等の情報を的確にご提供することを目指しております。沢山のご意見を頂き、本当に役に立つ地震情報公開システムを造ってまいりたいと思います。ぜひご協力をお願い致します。そして、本日は会場全員でこれらの議論に参加して頂き、有意義なミーティングにしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



開会挨拶を行う 鉄道総研理事長 熊谷則道